

平成29年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 河北中 学校
校長氏名	南方邦昭
作成日	平成30年 2月 8日

1 教育目標

『 正しく判断し ねばり強く実践する 心豊かで たくましい生徒の育成 』

2 本年度の取組についての評価

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標【P】	<ul style="list-style-type: none"> ○地域から信頼される学校づくりに努める ○保護者や育友会との信頼関係を強化する。 ○情報を積極的に発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員と生徒、生徒同士の人間関係作りに努める。 ○きめ細かな生徒指導に心がけ、指導体制の充実を図る。 ○道徳教育の指導を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○指導方法の工夫改善を図り基礎学力の充実に努める。 ○学力課題を明確にし、指導方法の工夫改善のための研修を深める。 ○特別支援教育を充実させる。 ○学習規律の遵守
取組の状況【D】	<ul style="list-style-type: none"> ○学校だよりの発行及び学年だよりの発行、保健だよりの発行し、学校の活動の様子を発信することができた。 ○学校HPを新しく刷新した。 ○野崎地区公民館文化祭への生徒作品展。 ○教育講演会の地域開放 	<ul style="list-style-type: none"> ○1・2年生はすべての学期において、悩みのアンケート等を実施し、それに基づいて教育相談等を実施。 ○毎日の登校指導の実施。 ○外部指導者による「薬物乱用防止や情報モラル」にかかわる特別授業を実施。 ○「希望へのかけはし」の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○2年生数学における少人数による授業の実施。 ○学生ボランティアの活用。 ○放課後補習「河北っ子自学自習教室」や長期休業中の補習等の実施。 ○校内研修を持ち、授業方法の工夫改善を進めることができた。 ○現職教育を通じ、少年センターとの連携で「生徒指導の在り方」について研修した
取組の成果と課題【C】	<ul style="list-style-type: none"> ○学校や学年からの「お知らせ」等の発行を通じ、学校活動について、保護者・地域の方々へ知らせることはできていた。 ○HPの更新は、学年だよりの保険だよりの学校からのプリントを掲載している。 ○行事日程の都合で、地域保育所との交流が不十分であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育講演会を、PTAや子どもを育てる協議会の後援を得て実施し、生徒だけでなく地域保護者にも開放した取り組みを行った。こうした取組は、河北中学校区の啓発につながっていくものと期待したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○2年生数学における少人数は教員配置との兼ね合いがある。 ○フォローアップ事業の取組は教員にとって学ぶ機会となった ○学生ボランティアの活用。 ○補習は参加人数も毎回30名前後あり、より充実させる。
改善方法【A】	<ul style="list-style-type: none"> ○学校・学年だよりの発行、保健だよりの配布を通じ、保護者・地域の方々へ学校の活動を知っていただく取組を継続する。 ○学校HPのスムーズな更新。 ○地域との連携を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○県の道徳教材である「希望へのかけはし」を中心に、3年間を見通した河北中の道徳計画をもう少し具体的なものにしていく。 ○外部指導者による講習を継続 ○教育相談等生徒との関わりを強める取組を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○少人数授業等について継続できるよう依頼していく。 ○年間を通じて教員の研修の充実。 ○放課後補習「河北っ子自学自習教室」や長期休業中の補習等の実施。 ○家庭学習の充実をはかる。

3 その他の課題

- 生徒にとって安全・安心な学校づくりをめざす取組をすすめていく。
 - ・全体的な施設の老朽化が進む中で、計画的に施設や設備の改善に努めていく。
 - ・悩みのアンケートやQ Uテストの実施、教育相談等を通じ、生徒理解に努めていく。
 - ・生活指導や道徳教育を充実し、規範意識を高め、落ち着いた学習環境作りに取り組む。
 - ・少人数授業の実施、補習の充実や学生ボランティアの活用等による学力向上への取組をすすめる。
 - ・防災教育への取組を充実させるとともに、地域との連携をより深めるように努力する。